

## 取扱暗号資産の概要説明書

概要書更新年月日	2025年6月30日
日本語の名称	コスプレトークン
現地語の名称	Cosplay Token
呼称（日本語の名称と同じ場合は一表記）	コスプレトークン、シーオーティー
ティッカーコード（シンボル）	COT
発行開始（年、月、日）	2018年3月 （2021年12月）
時価総額（ドル基準、例：\$ 1,000,000）	\$2,760,859
時価総額（円基準、例：¥ 100,000,000）	¥399,800,000
主な利用目的	コスプレ経済圏での決済、レベニューシェア、独自コインの発行。 具体的には、Player（コスプレイヤー）が、Cure WorldCosplayのプラットフォーム内でCOTを準備金としてPlayersCoin（独自コイン）を発行することができる。User（コスプレイヤーのファン）はCOTでPlayersCoinを購入し、PlayersCoinを消費することで、Playerへの投げ銭、Playerの限定コンテンツ利用、招待制イベントへの参加が可能となる。
利用制限の有無	なし
海外流通の有無	あり
国内流通の有無	あり
店舗等の利用制限の有無	なし
利用制限を行う者の属性	なし
利用制限の内容	なし
【基礎情報】 一般的な性格	イーサリアム（ERC20）に準拠したトークン。 本コインを利用して、Cure WorldCosplay内での決済や独自トークンの発行などを行うことが可能であるが、独自トークンの発行は現時点ではない。 コスプレイヤーやファン、カメラマン等、その周辺領域で活動する人々で形成される「コスプレ経済圏」の自発的發展を持続させるために発行されたトークンである。
法的性格（資金決済法第2条第14項第1号、第2号の別 例：第1号）	第1号
2号の場合：相互に交換可能な1号暗号資産の名称	—
発行暗号資産に対する資産（支払準備資産）の有無および名称	なし
発行者に対する保有者の支払請求権（買取請求権）	なし
支払請求（買取請求）による受渡資産	なし
発行者が保有者に付与するその他の権利	なし
発行者に対して保有者が負う義務	なし
価値の決定	保有者間の自由売買による
交換（売買）の制限	なし
価値移転、保有情報を記録する電子情報処理組織の形態	パブリック型ブロックチェーン
保有・移転記録台帳の公開、非公開の別	公開
保有・移転記録の秘匿性	Ethereumと同じ

	利用者の真正性の確認	Ethereumと同じ（秘密鍵と公開鍵を用いた暗号化技術により、利用者本人が発信した移転データと特定し、記帳する）
	価値移転記録の信頼性確保の仕組み	Ethereumに準じるため、以下にその特徴を記載。
	誕生時に技術的なベースとなったコインの有無とその名称（アルトコインのみ）	ETH
「取引単位・交換制限」	取引単位の呼称	COT
	保有・移転記録の最低単位	0.000000000000000001COT（小数点以下18桁）
	交換可能な通貨又は暗号資産	全て可
	交換制限	－
	制限内容	－
	交換市場の有無	あり
「連動する資産の有無等」	価値が連動する資産等の有無	なし
	価値連動する資産等の名称	－
	価値連動する資産等の内容	－
	価値連動する資産との交換の可否	－
	価値連動する資産との交換比率	－
	価値連動する資産との交換条件	－
【付加価値】	その他の付加価値（サービス）の有無	あり
	付加価値（サービス）の内容	<p>「コスプレ経済圏」を発展させるため、Cure WorldCosplayのプラットフォーム内で以下の付加価値を提供する。</p> <p>①コスプレ関連グッズの取得等に利用できる。</p> <p>②有意義な情報共有をしたユーザーへのリワードとして利用される。</p> <p>③COTを準備金としてPlayer Coin（独自コイン）を発行することができる。</p> <p>④プラットフォームを介して得た収益は協力した他のユーザーへと自動配分されるシステムを導入するため、カメラマンや造形師、企業などのユーザーとの協力体制がとりやすくなり、ビジネスを円滑に進ませることが出来る。</p>
	過去3年間の付加価値（サービス）の提供状況	現時点でCure WorldCosplayのプラットフォームでCOTを利用する機能が提供されていないためなし。
【発行】	発行者	あり
	発行主体の名称	Cure Holdings Limited
	発行主体の所在地	11F Crawford House, 70 Queens Road Central,
	発行主体の属性等	営利企業
	発行主体概要	平成30年1月設立。株式会社キュアの運営するCureWorldCosplayプラットフォームで利用できるCosplay Tokenの発行及び運用を行う
	発行暗号資産の信用力に関する説明	COTはスマートコントラクトによって発行可能数である10億COTが全数量発行されており、新規発行や複製ができない仕組みになっている。そのため不正発行による価値の希薄化を防いでおり、発行通貨に対する信用力を維持している。
	発行方法	パブリックブロックチェーンのEthereumのスマートコントラクトを基盤として発行
	発行可能数	1,000,000,000 COT
	発行可能数の変更可否	不可

【 状 況 】	変更方法	-
	変更の制約条件	-
	発行済み数量	1,000,000,000 COT
	今後の発行予定または発行条件	-
	過去3年間の発行状況	1,000,000,000 COT
	過去3年間の発行理由	海外業者において流出事故が発生し、一部のCOTがハッカーのアドレスへ流出したことを受け、保有者の利益を守ることを目的としてハッカーのアドレスの残高を消した上で再配布を行うため
	過去3年間の償却状況	-
	過去3年間の償却理由	-
	発行者の行う発行業務に対する監査の有無	あり
	監査を実施する者の氏名又は名称	Skeed Co., Ltd.
	直近時点で行われた監査年月日	2019年6月30日
	直近時点における監査結果	重大な問題の探知なし
	【 価 値 移 転 記 録 台 帳 に 係 る 技 術 】	ブロックチェーン技術の利用の有無
ブロックチェーンの形式		パブリック型
ブロックチェーン技術を利用しない場合には、その名称		-
利用するブロックチェーン技術以外の技術の内容		-
価値移転認証の仕組み		Ethereumに準じるため、台帳形式。価値移転認証を求める暗号データを記録者が解読し、利用者および移転内容の真正性を確認して価値移転記録台帳の記録を確定する。
価値記録公開/非公開の別		公開
保有者個人データの秘匿性の有無		あり
秘匿化の方法		公開鍵と秘密鍵による暗号化
価値移転ネットワークの信頼性に関する説明	オープンネットワークの脆弱性に対し、暗号により連鎖する台帳群（ブロックチェーン）および記録者による多数決をもって移転記録が認証される仕組みを用い、多数の記録者のネットワークへの参加を得ることによって、データ改竄の動機を排除し、信頼性を確保する。	
【 価 値 移 転 の 記 録 者 】	記録者の数	2025年7月23日時点のノード数：11,506(Ethereum) 参照先： <a href="https://etherscan.io/nodetracker">https://etherscan.io/nodetracker</a>
	記録者の分布状況	Ethereumの記録者は世界各国に分散しており、主な分布状況は米国53.14%、ドイツ11.7%、韓国5.83%であることが確認できる。 参照先： <a href="https://etherscan.io/nodetracker">https://etherscan.io/nodetracker</a> (2024年6月7日)
	記録者の主な属性	不特定、誰でも自由に記録者になることができる。
	記録の修正方法	記録者が合意し、各記録者が保管する台帳の修正を自ら行う。
	記録者の信用力に関する説明	記録者による多数の合意がなければ不正が成立せず、記録者が十分に多数であることによって、個々の記録者の信用力に頼らず、記録保持の仕組みそのものを信用の基礎としている。
	価値移転の管理状況に対する監査の有無	-
監査を実施する者の氏名又は名称	-	

	直近時点で行われた監査年月日	—
	その監査結果	—
	(統括者に関する情報)	—
	記録者の統括者の有無	—
	統括者の名称	—
	統括者の所在地	—
	統括者の属性	—
	統括者の概要	—
【暗号資産に内在するリスク】	価値移転ネットワークの脆弱性に関する特記事項	多数の記録者が結託し、あるいは既存の記録者が有する処理能力合計よりも強力な能力を用いることによって、記録台帳を改竄することで発行プログラムを改変することができる。
	保有情報暗号化技術の脆弱性に関する特記事項	
	発行者の破たんによる価値喪失の可能性に関する特記事項	発行者が破綻した場合であっても基本的にCOTはブロックチェーン上に残るため正常に取引ができる。一方、発行者が破綻した際の価格への影響は、破綻時のプロジェクトロードマップの進捗具合によるものの、Cure WorldCosplayサービスのエコシステムが機能しない場合はCOTの用途も喪失するため、十分に注意を要する。
	価値移転記録者の破たんによる価値喪失の可能性に関する特記事項	—
	移転の記録が遅延する可能性に関する特記事項	Ethereum上のトランザクションが過度に増大すると台帳への記録がされにくくなり、最終的にいい点の記録が相当送れるか、キャンセルされる場合がある。
	プログラムの不具合によるリスク等に関する特記事項	コントラクトコードの監査の結果、既知の脆弱性は見つからなかった。
	過去に発生したプログラムの不具合の発生状況に関する特記事項	Ethereum上のアプリケーション「The DAO」のプログラム(スマートコントラクト)のバグ(脆弱性)を攻撃されて、集まったファンド資金3分の1以上を盗み取られた事例がある。
	非互換性のアップデート(ハードフォーク)の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2016年7月 The DAOの攻撃によって盗まれたDAOを取り戻すEthereum Classicのハードフォーク</li> <li>・2022年9月15日、EthereumはThe Mergeとよばれる大型アップデートにより、ETH2.0のBeacon Chainとマージさせるハードフォークが実施され、Proof of Work(PoW)からProof of Stake (PoS)への完全なる移行を完了。</li> <li>・2023年1月17日V0.3.1ハードフォークを実施し、ネットワークガス料金の急上昇を防ぎ、チェーンの再編成(Reorgs)に対処。</li> <li>・2023年4月「Shanghai」、2024年3月「Dencun」を実施。</li> </ul>
	今後の非互換性アップデート予定	—
	正常な稼働に影響を与えたサイバー攻撃の履歴	—
	価格データの出所	出所：Zaif Orderbook trading
	1取引単位当たり計算単価(ドル基準、例：\$1.000.000)	\$0.0028

【流通状況】	1 取引単位当たり計算単価（円基準、例： ¥100,000,000）	¥0.3998
	ドル/円計算レート 2025年6月30日基準	144.81
	四半期取引数量	2024年1月～3月 ¥5,287(百万円) 出所：CoinMarketCap URL： <a href="https://coinmarketcap.com/ja/currencies/cosplay-token/historical-data/">https://coinmarketcap.com/ja/currencies/cosplay-token/historical-data/</a>
付帯条件・付言	付帯条件	<p>①取扱いのCOTが従前に発行されたCOTではないこと、また従前に発行されたCOTが市場流通していないことを利用者に対して周知し、COT保有者にとって不利益となるような行為が行われていないことを定期的かつ継続的にモニタリングを行い、必要に応じて利用者へ公開すること。</p> <p>②発行体および管理者の変化や動向を把握し、利用者へ正確な情報を適時丁寧に提供すること。</p> <p>③関係者の保有量に照らし、会員は関係者による保有状況をモニタリングし、必要に応じ利用者へ公開すること。</p> <p>④発行体に係るAML/CFT及び法令面でのリスクを鑑み、取扱い開始後も定期的に反社チェックの運用状況を会員にてモニタリングすること。</p> <p>⑤発行元の財政状態及び経営成績について、監査未了であっても適時に確認し、チェックした証跡を当社内部監査グループ又は協会等が検証可能な形で残すこと。</p> <p>⑥『暗号資産の取扱いに関する規則』第7条に定める取扱リスク及び価格に影響を及ぼす恐れがある情報、特にロードマップの進捗状況の収集について、手続きを定め適切に運用すること。</p>
	付言	—
備考		<p>2021年12月5日にプラットフォーム拡大を目的としたハードフォークを実施。古いコスプレトークン（V1）は、申請により新しいコスプレトークン（V2）への交換が可能。取引所での流通はコスプレトークン（V2）のみが対象となる。トークンの判別は以下のトークンアドレスによる。</p> <p>古いトークンアドレス COT v1:0xed64142f7d0a4d94ce0e7fe45d12f712fe360bd0</p> <p>新しいトークンアドレス COT v2:0x5cac718a3ae330d361e39244bf9e67ab17514ce8</p> <p>・ハードフォークお知らせ <a href="https://info.worldcosplay.net/ja/archives/37264">https://info.worldcosplay.net/ja/archives/37264</a></p>